

いけんひろば

みなさんが願う人生や社会にするために、学校でどんな学びが大切ですか？

いけんのまとめ 出向く型

1. 大きくなったら、どんなことができるようになりたいですか。

- 車とバイクの免許を取りたい。
- 医者になりたい。
- 料理ができるようになりたい。
- 小さい子と触れ合いたい。
- 大きくなったら、町中を優しくしたい。町中を優しくするために、困っている人を助けたり、人と関わったりしていききたい。
- 色々な免許を取りたい。
- 新しい細胞を作ってみたい。
- 音楽でトランペットを演奏してみたい。
- 英語を喋れるようになりたい。
- 戦闘機に乗ってみたい。
- 大工さんになりたい。
- 好きなことを仕事にしたい。
- ホワイト企業を作りたい。
- 日本のキャラクターを世界中に出したい。
 - こどもの夢だ。
- 野球選手になりたい。
- 算数。苦手だからできるようになりたい。
- 書写。きれいな字を書けるようになりたい。
- テストで良い点をとることができたら嬉しいから覚えたい。また、テストで 100 点をとるとおこづかいがもらえる。500 円もらえることもある。
- 5 年生や 6 年生になると、算数の公式を覚えなければいけないから難しい。
- 3 年生になったら、かけ算を覚えたい。
- 英語を頑張って、英語検定もとりたい。資格を持っていたら仕事にも役に立ちそう。外国は文化などが違うから、行くのに少し抵抗がある。
- 外国の人と話せるようになりたい。
- 絵を描く仕事やおしゃれなカフェで働く仕事をしたい。

2. 思い描く未来の社会をつくるために、これからどんな力をつけたいですか。

- 大人になりたい。
- 何をすることも仕事をみつけないと始まらないから働きたい。
- 駅にホームドアがついたらよい。東京にはたくさんあるが、自分が住んでいる駅の近くにはない。

- 最近は、JR の駅にホームドアがついている。
- 大学に進学して専門的なことを学びたい。心理学に興味がある。そのために、高校では基礎的な勉強をしたい。
- 平等に過ごせる社会になったらよいと思う。
- いま自分が出かけるとしたら、誰かに送ってもらうか、歩くか、公共交通機関を使わないといけない。一人で車を運転できるようになったらよい。
 - 自動運転があるとよい。
- 健常者と同じ土台で見てもらう。パラリンピックが開催されて、健常者から注目をされるようになったのは事実だが、「目が見えないから」「耳が聞こえないから」という偏見はまだ残っている。知り合いの大学生から、「受験できる大学が絞られてしまった」と聞いた。大学や会社に勤めるときに、健常者と同じ権利を持たせたい。日本には伝統を重んじる文化がある。
 - 自分が会社に勤めたら、晴眼者より給与が少ないと聞いた。それは不平等なので、同じ給与を払ってほしい。
- 大人になりたくない。
- スーパーウーマンになりたい。たくさん勉強して賢い人間になりたい。また、心が広い人間になれるよう、何か嫌なことがあっても大人な対応できるようにしていきたい。
- コミュニケーション能力を高めたほうが良いと思っている。人と会話できたほうが楽しいし、相手の良いところを吸収できる。ずっと会話していきたい。
- 色々やりたいことを詰め込みすぎて大変なので、コントロールできるようになりたい。そのために、高校にいるうちに無理しすぎないようにすることを身に付けたい。
- 障害があったとしても健常者と同じことができるような社会になってほしい。そのために勉強はやったほうが良いと思っている。
- 自分の好きなことを周りに伝えられたらと思っている。数学が好きなので、将来教えられたらと思っている。そのためには、コミュニケーション能力を身に付けたいと思っている。
- イラストレーター、キャラデザイナーなど、イラストに関する職業に就きたい。将来は芸術に関する高校に行って色々学びたい。受験した高校は8割が専門科目であり、タブレットも新しく買うことになる。また、デジタルにも初めて触れることになる。
- 仕事も夢も今は決まっていない。
- 暮らしを支える力をつけたい。
- 明確なものではなく、考えている途中である。高校卒業後の進路としては美容系に興味があるため、美容系の専門学校に行って学びたい。また、人と話すことが好きなので将来は接客業に就きたい。
- 強くなりたい。自分はパニック障害だが、それによって色々な人の気持ちが理解できるようになったため後悔はしていない。これから先も自分が強くなって人を受け入れられるようにしたいと思う。人に興味を持ち、相手が悩んでいることや相手の痛みをわかるようになりたいという気持ちがある。みんなが人を思いやる気持ちを持つことが大事なのかなと思う。
- パソコンを使えるようになっておきたい。

- プログラミングに触れるときまでに、先に自分でも学んでおきたい。
- 人間より力大きい「ロボット」の領域に携わりたいと思っている。システムや情報技術を学んで、ロボットの領域に関われるようになりたい。
- 自分で判断する力、相手を気づかうこと、体力は何事にも必要だと思う。
- 将来できるようになりたいこと：PC を触ったり、イラストレーターになりたい。
- 将来作りたい社会：ネットの人とオフ会したり、趣味が合う人同士でいろんなことを語り合ったりしたい。
- つけたい力：コミュ力、画力、生活力、語彙力、行動力。
- 一人でどこでも行ける社会。一人でどこでも行けたら、北陸など知らない場所にも行けて楽しいと思う。一人で電車に乗れる路線が限られているので、もっと増えてほしい。
 - 一部のローカル線では、いまだに電車に乗るときに段差があるので、なくなったら嬉しい。また、無人駅ではホームに着いたときに、携帯で駅員さんに「どこからどこまで車いすの人が乗ります」と連絡をして、電車にスムーズに乗れようになってほしい。
 - いちいちインターホンを押して駅員さんを呼ばなくて済むように、携帯で乗車時刻を駅員さんに伝えて予約できるようになれば良いと思う。
 - そういうアプリがあったら便利だと思う。
- 壮大かもしれないが、障害者を含めあらゆる人が差別を受けずに自分らしく生きることができる社会がほしい。そのためには、いろんな人から同意を得る必要があるので、コミュニケーション能力や語学力をつけたいと思う。世界各国で公用語として使われている英語などを学び、深いコミュニケーション能力を身につけ、外国の人ともコミュニケーションを取れるようになりたい。
- 色々なことが便利になって、障害者でも誰でも生きやすい社会になったら良いと思う。そのために、AI などの新しい技術を身につけていきたいと思う。
- 携帯一つで何でもできる便利な社会になってほしい。最近は携帯で支払いなどができるようになったが、一部の予約などまだパソコンでしかできないこともある。携帯のほうが軽いし、持ち運びもしやすい。ただ、携帯を忘れたら何もできなくなってしまふ。以前、友だちと出かけるときに携帯を忘れてしまって連絡がとれないことがあった。そのため、携帯を忘れない力がほしい。
- 障害などを理由に少数派になっている人たちも含めた様々な人が話し合えるような、平等でお互いに寄り添えるような社会になると嬉しい。そのためには、私たちの話を聞いてもらうことも大事だが、私たち自身ができることを伝えていくのも大事なので、発信力のある人間になりたい。
- どのような立場であっても自由に思ったことや意見を言えるような社会であると良いと思う。意見を言いづらくなる背景には立場の違いがあると思う。他の人の立場になって考えられる力や発信力が必要だと思う。
- 外に出ると、車いすが入れない場所が結構ある。誰でも入れるような場所を作れると良いと思う。
 - バーチャルの世界なら、車いすであっても過ごしやすと思う。
 - テクノロジーを活用した社会になると良いと思う。
- 決断力をつけたい。迷っていると話が先に進まず、時間が無駄に過ぎてしまうことがある。時には思い切って行動をしたほうが楽なこともある。

- 話し合いをしていると、人によって発信する意見の量にばらつきがあると思う。自分の意見を言える人やまとめ役の人が前に立って、意見を言えていない人の声を引き出せるようになると良いと思う。
- 積極的に自分から行動する力は必要。自分がやらなくても他の人がやってくれるんじゃないか、面倒だな、という思いが勝って行動するのをやめてしまうことがある。行動力を身に付けたい。
- 優柔不断な性格なので、迷ってしまうことがある。決断力が欲しい。
- 高校を卒業しても困らないように、自分自身で決断して行動できる能力を身につけられると思い描く社会を実現できるかもしれない。
- 働くための力を身に付けたい。例えば、人とのコミュニケーションの力や、自分の得意・不得意を理解する力など。
- 異性との上手な付き合い方を知りたい。小学校や中学校ではあまり学んでこなかったが、売春などのニュースを観て、これから学んだ方が良いと思った。
- もうすぐ高校3年生になるので、部活を楽しんでいきたい。今は部活でダンスや劇をしている。
- 睡眠をしっかりったり、ごはんをしっかり食べたりすることが大事だと思う。そのために、しっかりと学校生活を送って、自分が希望する仕事をできるようになりたい。体調管理をして、遅刻しないように気を付けたい。
- コミュニケーションの力をつけたい。
- 英語など、ろうの人にとっては聞き取るのが難しいものがある。ろうの人がなんでも聞き取れる社会になってほしい。
- 障害者向けの仕事があるが、どうしても聴者と給料が変わってしまう。平等になるような仕事があっても良いと思う。
- 聴者とのコミュニケーションはお店に入ったときなどに限られる。色々な人とコミュニケーションを取れる力を身につけられるように、色々な人と交流したい。
- 英語などの勉強が必要だと思う。
- 聴者とのコミュニケーションできるようにしたい。自分は小学校4年生までは通常の学校に行っていたからある程度聞き取れるが、どうしても聞き取れないことがある。機械などを活用してコミュニケーションが取れると良いと思う。
- 時代の変化に対応できる柔軟性などの力が欲しい。
- 想像力が必要になると思う。
- 言葉が苦手なので通じるように国語力を身に付けたい。
- 思っていることを文章にする力をつけたい。
- オリジナリティがほしい。多数派に従うのではなく、少数派の考えも聞いて広める力があると良い。
- 最近はろうに対する理解が広がってきていると思うが、全国的にはまだろうの理解度が低い状態。将来、全国的にろうへの理解が進み、ろう者の聞こえ方や、はっきりしゃべれる人、しゃべれない人などいろいろな人がいるといった現状を知ってもらえる社会になってほしい。自分としては、サッカーを通してろう者でも聴者と変わらない力があるということを見せられたらいいなと思う。
- 僕も聴者のチームに入ってやってサッカーをやっている。補聴器を付けていると「しゃべれば伝わる」と誤解されることが多い。そうではなくて、聞こえ方は人それぞれであることを知ってもらえる社会になってほしい。自

分は海外で活動できる人になりたいと思う。そのために、ろうの世界のコミュニケーションが広がるといいなと思う。国際手話を身に付けられるといいなと思う。小さいころから国際手話を練習して、身に付けられる環境が広がっていくといいな。

- 父がアメリカ人で、家の中では日本の手話と ASL（アメリカ手話）を使っている。通じないこともあるけれど、将来、学校で ASL の教育が増えればいいなと思う。
 - 今は英語教育を小学校 3 年生から始めるのが普通だが、もっと早くから始めてほしい。
 - もっと早く始まったら、将来、英語を話す時にも楽になるかなと思った。
 - 語学力をもっと身に付けたい。
- 将来ドラえもんのような社会になればいいなと思う。例えばタケコプターみたいに自由に空を飛べる道具や、どこでもドアのようにすぐに行きたいところに行ける道具があればいいなと思う。今は難しいかもしれないが、いつかそういう風になったらいい。そのために自分ができることを考えるのは難しいけれど、楽しく生きます！そのために、ドラえもんの良さを皆に伝えて、頭が良い人に便利な道具を作ってもらいたいと思っている。お願いします。自分には無理だと思いますので。
- 僕も他の 3 人も、聴者とのコミュニケーションがなかなか取れないということがよくある。なので、ろう者に対する理解が進めばいいなと思っている。
- さっき話した内容についてだが、今でもよくあるが、例えば聴者が話していることを口話で理解しようとしても分からず、コミュニケーションの輪に入れないことがある。それを見ると、心が落ち込むことがある。将来、ろう者も聴者と一緒に楽しく話せるような場が増えるような社会になればいいなと思う。

○将来、どんな社会をつくりたい／なってほしいですか。

- 将来の社会について、一番大きいところという戦争がなくなってほしい。大きな戦争だけではなく、いじめや差別もなくなればいいなと思う。
- 戦争がない社会になってほしいと思う。
 - 自分も戦争は嫌だ。
- 最近、スーパーの食材やガソリンの値段が上がったということを知った。生活が困ってしまうので、そうはならないでほしいと思う。お金がない人、貧しい人の生活が難しくなる。貧富の差が少しずつなくなるといい。
- 暮らしやすい社会がいい。
- ご飯など色々なものが安くなってほしい。
- 戦争がなくなったらいい。
- 自分が死ぬ前に、戦争がなくなってほしい。
- いまは政治に振り回される社会。政治を理解して、振り回されないようになりたい。アメリカの独裁政治が始まるかもしれない。ニュースを見ていると不安になる。
- みんなが幸せな社会を作りたい。おばあちゃんやおじいちゃんは、自分より力がなかつたりするため、補い合っって支え合っって、笑顔がある社会にしたい。

○今の「社会」と聞いて思い浮かぶもの

- 特に思い浮かぶものはない。

○学校に入ってからできるようになったこと

- 学校に入って授業が始まったばかりのころは難しかったけど、今ではできるようになった。2年生になる準備ができています。
- 漢字をたくさん覚えることができました。今は漢字検定の勉強をしています。
- 全部。テストができるようになった。

3. 今までの授業で、ワクワクした授業はどんな授業でしたか。

- 友達との話し合いがメインの授業や家庭科の調理実習。
- 教科以外にも先生によってモチベーションが変わる。
- 体育。バレーボールが楽しかった。
 - 自分も体育が大好き。
 - タグラグビーが面白かった。
 - 5分間走が好き。
 - 体育のおもしろい授業。
 - Tベースという、野球みたいなゲームが楽しかった。
- 外国語の授業でペアをつかってゲームをしたとき。
- 体育でドッチボールをしたときが楽しかった。
- 生活の時間にお祭りをしたこと。図工で色づくりをしたのが実験みたいで楽しかった。
- 図工で絵の具を使って絵を描いたのが楽しかった。にじんだ絵の具の色がきれいで好き。
- 勾玉を作る授業があり、楽しかった。作った勾玉に紐を通してペンダントにしたのがとても印象に残っている。
- あまり授業に出ていないから覚えていないが、実験をするのが楽しかった。液体の色が変わる実験をした授業が比較的印象に残っている。
 - 実験の授業は自分も楽しかった。目の前で何かが起きると興味深い。探究心がうずく。
- 美術や音楽がすごく好き。体育は苦手。数学は二次方程式が苦手。数学の先生は楽しそうにしているのが凄いなと思う。
 - おもちゃなどを作って、それを使って勉強すると覚えやすいかなと思う。
- 体操の授業がワクワクした。体を動かすことが好きだし得意なことができるのが楽しい。器械体操以外は苦手な運動もあるので見学する日があるが、見ているのも楽しい。また、どの講座を受けるか自分が選択できる授業では学校周辺を散歩する講座をとっている。また、畑講座で農業をして収穫したり調理したりしている。
- ワクワクした授業とは逆の話だが、家庭科で針を使うのが苦手。ミシンは大丈夫。裁縫よりも調理実習の方が気合いが入る。教科書はあまり使わない。先生が作ってくれたスライドを見たり、動画を見たりする。
 - ミシンは自分も使うことがある。手縫いは好きじゃない。
- 学校のイベントで鍋パーティのような感じで鍋を作ってみんなでシェアして食べた。また、学校のイベントでは各クラスがスポーツやレクリエーションを交えた活動を考えたり、お餅をついて食べたり、展示会をしたりする。

みんなで協力できるし、音楽祭や運動会のように生徒同士で競う感じではなく、みんなで作り上げて楽しむことができるところが好き。

- 職場体験で保育園に行った。小さいこどもが好きなので楽しかった。職場体験先の候補の中では保育園が人気で、定員に対して希望者が1人多かったので参加者をくじ引きで決めることになった。定員を超えているのは1人だけだったので、くじ引きにせず融通を利かせてほしいと思った。
- 出欠をとった後や授業内で雑談として面白い話をしてくれる授業は楽しいと思った。
- 理科の授業で太陽の動き方を学んだときに、外に行き観測したり体験したりするのが楽しかった。
- 最初は興味がなかったけれど、やってみたら面白くて興味を持ったのが、社会の授業。世界史を扱ったときに、最初はなぜ法律ができたのかを知らなかったが、法律の考え方がイギリスから始まったことや、それがあって今の政治という仕組みがあるのだと学んで面白かった。「革命を起こした人は、すごい人かそうでない人か。紙一重だ。」という先生の意見をきいて面白いなと感じた。イギリスは、歴史を踏まえて王はいるけど衆議院制度で進んでいることなどを知った。
 - 社会の授業では、先生が大きなモニター上の大陸の地図でアメリカの統治範囲を示してくれて、それを見ながら理解することができた。「こんなに小さな場所から始まったんだな」と思った。
- 2つある。1つは職場体験。職場体験を経て、情報や技術、介護や福祉に関わりをつなげていきたいと思った。夢を見つける意味でも、職場体験がいい機会だった。もう1つは、国語の授業でビブリオバトルという、おすすめの本を一人一つ紹介していく取組。シンプルに戦いが好きで、勝ち負けがわかるから勝つためにたくさん書いた。勝つというわかりやすい目的があると燃える。楽しい。
 - 国語は息抜きの時間を設けてくれる。百人一首や俳句作りの時間など。楽しい。
 - バトル形式になっていると燃える。
 - がちっとしているより、ゆるーくやろうという感じだと楽しい。例えば百人一首の授業では、「ちはやふる」が来たら「からくれないに」の下の札を取る、というルールを覚えやすくプリントにまとめてくれていた。
- 小学校3年生の時、保護者も見に来る公開講座で、詩を選んで保護者の前で発表した授業があった。そのためにいろいろな詩を調べたり、覚えたりして、詩に親しみがわいた。今でもその詩を覚えている。
- 授業の話ではないが、中学校の始業式のすぐ後の日に、授業をせずにすぐ近くの公園に行き、滑り台で遊んだことがある。小学校でしかやらないものだと思っていたので、自分は勘違いしていたなと思った。忘れていたものを思い出せる機会だった。
 - 授業以外のことがあると、疲れている気持ちがりフレッシュして、「明日行きたくないな」の気持ちだが、「明日行きたいな」の気持ちになる。また、バトルしたのであれば、次はあの子に勝とう、と思ってモチベーションが上がる。
- ちょっと創意工夫するだけで楽しくなるから、先生たちにも頑張ってもらいたい。
- この学校では行事が多い。冬迎祭や、もちつきがあったり、鍋を作ったりする。行事があると、そこまで頑張ろうと思える。
 - 夏休みに集まって餃子を作ったこともある。夏だから暑くて、先生たちがかき氷機を持ってきてくれていちごシロップを作ってくれた。夏休みに学校に行ったのが嫌な気持ちじゃなくて、楽しい思い出になった。

- 火曜日と木曜日の4・5時間目に、「講座」という授業の時間がある。自分がやりたいことを深めるための時間として使える。自分は、音楽講座とサッカー講座に入っている。
 - 陶芸講座では、お店に売っているような陶器を作れる。畑講座では、学校の裏にある畑でいろいろな野菜を作ることができる。さらに、クッキング講座や、体育館で楽しむ講座、勉強講座といって図書館で過ごすことができる講座もある。
 - 受験を控えている子に勉強を教えてくれる講座もある。
 - 粘土が好きな子であれば、紙粘土を作ることができる。ガングラムが好きな子は、学校でガングラムのプラモデルを作ることできる。
- 中学3年生になってからこの学校に来たが、受験生なのにこんなに遊んでいていいのかな？とびっくりした。
 - 年下のきょうだいとテストの内容を比べたことがあるが、同じ範囲の内容で難しさに差はなかった。むしろ自分たちの学校のテストに少し難しいところがあった。だから、遊ぶことがあってもしっかり勉強を進められているのだなと思って、安心している。
- 全体で見たら、体験型の授業や行事など、勉強以外の堅苦しくないことがきつといいのだろうと思った。そういう時間がいろいろな学校で増えたらいいなと思った。
- 美術の時間がいちばんワクワクした。「今度は何を作るのかな」「何を書くだろう」というワクワク感があった。
- 音楽と行事が好き。みんなで合唱するのがストレス発散になる。行事では、普段は行けないような場所に行くこともあるので楽しい。
- 音楽と体育が好き。体育では走るのが好き。音楽では発声練習が好き。
- 家庭の授業でしゅうをするのが好き。中学生の時にもしゅうをした思い出があるので、しゅうをするたびに懐かしさを感じる。
- クイズやゲームの要素がある授業が好き。例えば、体育の授業での試合や、国語の授業での漢字クイズなど。
- プログラミング。ゲームのコンテンツの基本となるプログラミングを体験できるのはワクワクする。クイズ形式の授業では知識を覚えやすくなると思う。
- 漢字が苦手。
- 家庭科が大好き。今は刺し子の練習をしている。
- 人間の身体の写真がとても苦手。理科の先生が人体模型を紙で作ってくれたので、安心して授業に参加できるようになった。
- 優しい先生も厳しい先生もいるので、学校は楽しい。

4. 思い描く未来の社会をつくる力をつけていくために、どんな授業がよいと思いますか。

- 公共交通機関はできるだけ使えるようになったほうがよいので、練習をして損はない。
 - 自立的な生活ができるとうい。
 - 調理や、パソコンなどの技術系もできるとよい。
- 健常者と触れ合い、知ってもらおうとよい。

- 健常者にアピールする。
- 学校外で道案内してもらったときに、「視覚障害者＝全盲」という思い込みを持たれていると感じた。アピールは、こども・若者よりも上の世代にしたほうがよい。自分たちのことを分かってもらえる。
 - 視力は100か0ではない。
 - 弱視の人もある。
 - 小学生なら仕方がないけど、大人なら知っていてほしい。友達からも同じ意見を聞いたことがある。
- コミュニケーションを身に付けるのであれば、道徳や国語の授業は人間関係や言葉づかいを勉強できるので、将来的に役立つと思う。
- 自分の意見をしっかり伝えられる授業があれば、社会に出てもコミュニケーション能力が高い人として認められると思う。
 - 自分の意見を伝える機会はホームルームなど週に2回位ある。回数は少ないと思うが、増やすとそのぶん一般教養を学ぶ時間が無くなる。
 - 一般教養の中で話し合いの時間を増やせたらと思う。
 - 話し合いの時間は、教科によってはあつたりなかつたりする。
- 歴史を勉強したい。昔への憧れがある。昔の人に憧れの人もある。
- 道徳の授業が大事だと思う。トランプでくじ引きのようなことをして、それで同じグループになった人と意見を共有したりするイメージ。相手のことを考えたり協力したりする授業は大事だと思う。
- 社会の授業では先生が最近の出来事を交えて話してくれるため、思い描く社会をつくるための力につながっていると思う。
- いまの政治やニュースを軽くおさらいして、その後で考え始める授業がよさそう。この学校の社会の先生は、そのような授業をしてくれている。また、「こういうことがあったから今これを学んでいるよ」という流れで教えてくれるのだが、今のこともわかるし、「昔がこうだったから今がこうなった」という流れもわかる。他の学校でもそうやって教えてほしい。
- 好き嫌いが分かれてしまうかもしれないけれど、社会の授業では、過去の歴史の出来事をまぜながらクイズ形式で先生が教えてくれて面白い。わからないときは、「復習しなくては」という気持ちになる。
 - 国旗や年号は覚えにくい。でも、「瀬戸内は〇〇が特産でしょ、だから瀬戸内レモンって言うんだよ」というように知っている言葉と結び付けて説明をしてくれるのがわかりやすい。
 - 豆知識と絡めて教えてくれて面白い。
- 公民で学んだことが、「ニュースで見たものだ」と思って面白いなと感じることがある。
- 数学の授業が面白い。この学校に来る前には数学に苦手意識があったが、この学校の先生は自分の過去の話や経験を話してくれて、話に落ちがあり、そのあと授業に入ってくれるので面白い。
 - わからないところがあったら、先生がわかるようになるまで教えてくれる。みんながある程度わかったら、次の内容に進んでいる。
- 将来システムを学ぶために、パソコンや機器と触れ合う体験型の授業が欲しい。説明を受けるだけではわからないので、機器で遊んだり触れ合ったりする時間が欲しい。

- 自分は機械音痴。触っていないのに SOS ボタンが発動したりするので、そういう機能をなくせたらいいと思うが、その設定をしようとしても情報量が多くてよくわからない。そういうのをわかりやすく教えてほしい。
- 政治に振り回されないようになるためには、こまめにニュースや政治関連の記事を読むことが大事。例えば、日本には武器を持たないという憲法があるが、日本の現状は憲法に反しているから、法改正が行われるかもしれない。そういった事情をわかっていればきっと法改正に関する署名をしないが、わかっていないと署名をしてしまうかもしれない。そういうことが怖い。今はスマホを使ってなんでも行動できるので、逆に言えばネットを使って簡単にデマが流せてしまう。注意が必要だと感じる。
- 市に感謝していることがある。自分の居住する市では、PC を一人一台貸し出してくれる。自分の家には PC がなかったが、貸出してもらって初めて PC に触れることができたので、とても感謝している。それがなかったら自分は PC も持っていなかったと思う。
 - 家に古い PC はあったが、その後壊れて触れる機会がなかった。中学生になって PC やスマホに触れるようになり、こんな風に世界が回っているんだなとわかった。
 - アルファベットも PC だと触れる機会が多い。英語学習のためには良い気がする。
- ノートにずっと書き留めているよりは、理科の実験や家庭科の調理実習のような体験をする授業の方が自分たちも楽しいし、学びが身に付くのではないかなと思う。
- 紛争やケンカが起こるのは、すれ違いが原因だと思う。真実の一つだって言うけれど、人によって見方があるので、真実は二つや三つになる。また、人によって思い込みがあり、喧嘩や戦争になってしまう。そうならないために、心理学を学んだほうがいいと思う。今から学べば、喧嘩などが減ると思う。また、話し合うことが大切である。
- この学校の道徳の授業には、ソーシャルスキルアッププログラムという授業がある。例えば、グループワークで「無人島に行ったら何を持って行く？」と話し合って答えを出す。また、NHK の昔の番組を視聴し、そのテーマについて「みんなならどうする？」という話し合いをする。これらを通じてコミュニケーション能力を高めている。内容も面白い。
 - 話すのが苦手な子どもたちにとってはいい授業だと思う。自分は話すのが苦手じゃないからそういう授業はなくてもいいかな、と思うが。この学校の授業を全ての学校に適用するのは、それはそれでだめだと思う。
- この学校の良さは、生徒と先生、という上下関係がないこと。下の学年の生徒も、上の学年にタメ口で話してもいい。
 - うちの学校は先輩・後輩がないので、それによるいいところも多い。
- 社会の授業で「戦争は怖いね」ということを先生が生徒たちに教えてあげると、これからの社会作りに良いのではないかなと思いました。
- 将来必要な技術を学んだり身につけたりする機会が高校生などのうちから多少あると良い。
- 駅員さんに連絡して一人で電車に乗れるようになるための授業が良いと思う。そうすれば、両親の負担が減らせる。
 - 実際に駅で実習できると良いかもしれない。

- 情報を使いこなせるようになるために、中学で必修科目としてメディアリテラシーなどを学べるようになって良いと思う。現代社会は情報が沢山あるため、デマ情報に惑わされないためにもそういう力をつけたほうが良いと思う。
 - 確かに、小・中学生でも携帯を持っている人が多いので、中学生までにメディアリテラシーを勉強したほうが良いと思う。
 - デマ情報に惑わされないよう、偽物の情報と本物の情報を見分ける方法を教えてほしい。そういう方法をサイトで紹介できると良いと思う。
 - サイトに載せてしまうと、デマ情報を流している側の人に対策されてしまうかもしれない。そのため、正しい情報とデマ情報を見分けられる携帯の機能があると良いと思う。
 - 授業で間違い探しをしても良いかもしれない。分かりにくいクイズより、間違い探しのほうが楽しめると思う。
- 英語を生徒のレベル別に教えてほしい。
- 今でもたまにあるが、話し合いなどコミュニケーションを中心とした授業が良いと思う。
- ディベートの授業が良いと思う。最近では様々な学校が導入しはじめていると聞いた。他の人の意見を聴いたり、少数派や自分とは違う立場の考え方を知ったりすることで、大人になってからも「こういう人がいたな」と思い出すことで、コミュニケーションが上手くできると思う。お互いの意見を共有できる環境が作られると良いと思う。テーマは社会課題でもお互いについてでも良い。
- 発信力を高めるため、プレゼンなど発表する授業が必要だと思う。また、他の人のプレゼンを通じて、他人の立場を理解できるようになるかもしれない。
- PowerPoint や Google スライドを積極的に使用することで、プレゼンに求められる資料作成スキルを伸ばすことができる。
- 生徒と先生の立場を逆にしてみると良いかもしれない。自分自身が教える立場になることで、どうすれば相手にうまく伝わるかを考えることができる。
- まだやったことがないことに挑戦したい。
- もっと楽しい授業にしたい。例えば、みんなが笑顔であいさつできるように「お願いします」と言うなど。
- 体育などの授業で、お互い思いやりをもって相手を手伝うような時間があるといい。一人だけだと上手くできないこともある。
- 二人一組でペアになって授業を受けるのも良いと思う。
- 寝る時間がみんな別々なのでなんとも言えないが、自分が一番眠くなった時間に寝られたほうが良いと思う。
- 遅い時間になることもあるけど、早めに明日の準備をすることができると良いなと思う。
- 特に理科などでは、面白い実験が増えてほしい。教科書で読むだけよりも、実際に手を動かした方が分かりやすい。
- 体育でバスケットよりもバレーボールをしたい。
- 今は聴者と話す機会がないので、聴者と話してみたいと思う。自分がどれくらい話せるのか知りたい。

- 授業では柔軟性はあまり身に付けられないかもしれない。ただ、最近は授業でも機械が使われるようになって分かりやすくなった。
- みんなのことを知ったり、何か問題があったときに解決方法をみんなで話し合ったりする授業。そうすれば、色々な意見が出てくるので良いと思う。
- 例えば、テストで問題文を読んだときに解答できるよう、しっかりと文章の意味を理解できる力を身に付けられると良いと思う。
- 今の授業に不満があるわけではないが、学校の中で授業を受けるんじゃなくて、外に行くような授業も少し増えるといいなと思う。例えば、聴者と交流する場があったり、山を見学したり。授業では動画を見て学ぶんじゃなくて、その場に行って、その場所を感じるような授業があるといいな。そうすると、学校に行くことが楽しくなると思う。例えば、今は理科の時間に動画を見ながら授業を進めているが、実際にその場に行くことができるといいなと思う。
- やっぱり国際手話を身に付けたい。外国のろう者とのコミュニケーションを取る機会があれば、身に付けやすいと思う。実際に外国の人に会う機会が授業で増えるといいなと思う。
- 聞こえないから自分が言いたいことを間違えて理解されることも多い。なので、ろう者と聴者が話したり、聴者が障害について調べたりするようなことができる授業があるといいなと思っている。
- 総合の時間で SDGs について学んでいる。SDGs も大切だと思うが、その時間を他に使える気がする。例えば、他の障害関係の説明や、講義など。
- ろう学校だけでなく、健聴の学校でも手話を学ぶ授業を入れてほしい。
 - 今もそういう学校はあるかと思う。手話の「あいうえお」くらいは分かる人もいると聞いている。でも、もっと増えてほしいなと思っている。

○普通学校との関わりについて

- 健常者が通っている学校と能動的に関わって、みんなで一つのことを取り組むような授業があれば、コミュニケーションを通じて自分の障害のことも理解してもらえる社会にもつながっていくと思う。
- 盲学校との関わりはたまにあるが、普通学校との関わりはない。
- 小学部の頃は、年一で近くの中学校と交流したり、学期に一回近くの小学校と交流したりしていた。
- 普通学校から盲学校に転校した自分からすると、普通学校に訪れるのは勇気がある。
- 自分が普通学級に通っていたときは盲学校との関わりはなかった。この学校に転校してから、改めて普通学級との距離感が広がったと感じているので、もっと関わりが増えたら良いと思う。

○今の授業について

- この学校は先生と生徒の距離感が近く気軽に話しかけられるので満足しているが、内容が難しく、「ズーン」となることもある。
- 授業で取り扱う内容について前提知識を学ぶ時間があればもっと良いと思う。例えば、英語の文章のテーマが地球温暖化であれば、日本語で地球温暖化について少し学んでから、英語の文章に取りかかれば身に付きやすくなると思う。

- 配られるプリントは、教科書の内容をそのまま記すのではなく、重要なポイントをピックアップしてもらえると良いと思う。
- 他の学校ではもっと難しい授業をやっていることもあると思う。数学の進度が遅いと言われている。転入してきた子の様子を見るとやはりこの学校の授業は進度が遅いと思われる。そのため、週2回の自立活動の時間は数学を勉強する時間に充てているが、それでようやく他の学校と同じくらいの進度になっていると思う。
- 英語の授業のときに、みんなの前で発表するのが嫌だと感じる。違う部屋から発表できるようにしてほしい。また、他の教科でもみんなの前に出て発表するのは少し嫌だと感じる。前に出ないで発表するほうが少し話しやすい。ただ、国語の授業でみんなの前で文章を読むのは問題ない。
- もう少し校則が緩くなってくれと嬉しい。髪の毛が肩についたら結ばないといけなかったり、部活中はお団子ヘアにしないといけなかったりする。

○好きな教科

- 体育。マラソンはあまり好きではないが、バスケやダンスが好き。ただ、好きな教科である体育であっても、教科書を楽しくは読めない。
- 理科の授業で実験するのも好き。
- 音楽は普通くらい。英語はゲーム形式の授業でもあまり楽しくない。
- 給食の時間は、友達と話しながらご飯を食べられるので楽しい。好きなメニューは野菜チップスで、苦手なメニューはシヤモなどの魚である。給食に含まれている栄養などにはあまり興味ない。

○自立の具体的なイメージを教えてください。学校でどんなことができるとよいですか。

- 基礎的な生活能力を高めないと、社会に出ることができない。学校では自立活動の授業があり、歩行や調理などの力を養ってもらっている。もう少し学べると、ひとり暮らしで苦労しないと思う。
- 自立活動の授業は、回数も内容も変えてほしい。
- ただ、歩行の授業回数が増えすぎると、他の授業が少なくなってしまう。
- 現在の歩行の授業は、1時間授業なので、限られた距離しかいけない。2時間授業だとより遠くに行けるので嬉しい。
- ちょっと怖いけれど、実際に調理する、実際に行ってみることがよい。いまも実体験する授業はあるが、もっと増えるとよい。

○健常者との交流について、どんなことができるとよいですか。

- 健常者と会って一番苦労するのは、見え方を理解してもらうこと。理解してもらうために、自己紹介で「あなたの見え方を教えてください」と聞かれることがある。ただ、別の学校に通っている友だちは「自分の見え方を言いたくない」と言っていた。その友だちに「どうやって健常者に分かってもらうか」と聞かれて、「自分の見え方を言うしかない」と答えた。自分がどういう見え方かを伝える習慣がついていないと言えない。自己紹介で自分の見え方を言う習慣をつけたり、お互いを理解する心もちを大切にしたりすると、健常者と触れ合うときに伝えるのが上手になり、健常者からの質問に答えられるようになると思う。授業というより会っ

て話した方が早いので、健常者との交流会を開いてもらいたい。小学校や中学校では交流会があった。交流会を通してコミュニケーション能力が向上する。

- 健常者に知ってもらうことは大事だと思う。
- 個人的には、交流会で話すよりも、帰り道で自然にすれちがって、少し話すことで自然に友達になれるとよいと思う。以前、同級生の女の子の友達がほしかったとき、ある盲学校主催のワークショップがあった。ワークショップ中ではなく、帰り道にすれ違った子と気が合って友だちになったことがある。ワークショップは毎年開かれていて、毎回会ったり、ランチをしたりするようになった。友達ができてよかったと思う。
- 入学式で自分から話しかけて車いすを使っている子と友だちになった。偶然に友だちができる感じだった。
- 誰かとあいさつして事前に友だちになったことはない。

5. 授業中に、先生からどんな場面でどんな言葉かけや手助けをしてもらうと、やる気が出ますか。

- 数学の授業でわからないときはアドバイスがほしい。いまもやってもらっており、これからも続けてほしい。
- 気持ちが軽くなる雰囲気を出したり、声掛けをしてくれたりすると楽しい。
- 健常者が使う「これ」「それ」は感覚的な言葉であり、言われても分からない。具体的な説明がほしい。
 - 同じ意見。「これ」と言われると「なに？」となる。
- 自分はやる気を出すのに時間がかかってしまうので、積極的に勉強に取り組むことが難しい。先生から「ちょっと一緒にやってみない？」と声をかけてくれれば取り組みやすくなる。わからない問題について自分から質問することに怖さや恥ずかしさを感じる。
- 好きな授業であればやる気を出せるが、嫌いな授業は何を言われてもやる気を出しづらいと思う。
- 今日の授業でどこまで進めるかというゴールを示してもらえると頑張れる気がする。ゴールが遠すぎる場合は、先生や友だちと話してゴールをもう少し手前に設定してもらえるよう交渉したい。
- 褒められたとき。
- わくわくするとき。理科で初めて実験したとき。
- 体育で、「上手だね」と言われたとき。
- 「こういうことを言われたい」というのはない。
- 言われたいことはあまりない。
- 先生が「凄く上手だね」「これからも頑張るね」「書き順が凄く上手だね」と言ってくれる。そう言われると嬉しい。
- 苦手な授業で、先生が声をかけてくれたとき。「楽しそうだからがんばるぞー！」と思える。
- 間違っていることがあったときに、「間違っているよ！」と指摘されるのではなく、「間違っているんじゃない？」と優しく言ってもらえると嬉しい。
- 数学の授業などで問題を解く時間があり、先生たちが2～3人で生徒たちの周りを見ている。困った時に助けにきてくれるとありがたいと感じる。
- 自分が「教えてほしい」と思っているときに先生が来てくれると嬉しい。答えそのものよりも、答えに近づくためのヒント（順序・やり方など）を教えてもらえると嬉しい。

- コメントがある方が励みになる。
- プリントを使った学習のとき、自分から「終わりました」とは言いにくいので声をかけてもらえると嬉しい。ポジティブな声かけをしてもらえるとやる気が出ると思う。
- ただ数字で成績をつけるだけでなく、人間性などの内面に関する文章を入れてくれると嬉しい。数字だけだと、授業の出来栄のみを評価されている感じになってしまう。
 - 自分はあまり成績を見なかった。一言コメントがあるとやる気がでると思う。
 - 先生の一言スペースのところにポジティブなこと（例：〇〇さんは～で、～ができています。）と書いてもらえているので、自分は今のままで良いと思う。自分が行きたい高校は中学校での評価は関係ないが、評価が関係ある高校への進学を希望している人にはプレッシャーになるかもしれない。
- 数学でわからないことがあったときのことを話す。転校してきた当時はわかったふりをしたらいいと思っていたが、転校してきて助けてくれた先生に、わからないことがばれてしまった。そのときに、無理に考えなくていいよと言われた。「わからなくても迷惑じゃないから、わからないのにわかったふりをする方が迷惑だから」と言ってくれた。先生は、答えをあえて配布しない方針のよう。
- 問題を解いているとき、シンプルに褒めてもらおうとやる気が出る。褒めてもらって伸びるタイプだから。
- 自分は逆に、「危機感を持った方がいい」と言われた方がいい。褒めてもらったら嬉しいが、やばいときはやばいと言ってもらった方が、やる気が出る。
- 先生がフォローしてくれると嬉しい。お世話になっていると思う。今日のいけんひろばで出てきた意見を振り返っても、先生たちにすごく助けてもらっているんだなと実感した。
 - 卒業したくない。
- 先生たちに期待したいのは、ちゃんと間違っていることを間違っていると言ってくれること。周りが変だと言ってくることを、変だと言わずに受け止めてくれること。自分は車が好きなのだが、以前は男みたいと言われることが多かった。でも、この学校では先生たちが受け止めてくれた。それがよかった。
- 特に思い浮かぶものはない。
- がんばったとき、成功したときにほめられるのは単純にうれしい。できないときに、「〇〇（名前）ならできるよ」という言葉はプレッシャーになり、やる気がなくなる。上手いかない理由や原因を探して、コツやポイントを教えてくれたり、一緒にやってもらえたりするとやる気につながる。
- 「小学校のときよりも●●ができるようになったね」というように、以前の自分と比べてほめてもらえるとやる気が出る。自分は小学校のときは字が汚かったが、最近先生から「字がすごくきれいになってるね」と言ってもらえたのが嬉しかった。
 - たしかに、やる気が出るかはわからないが嬉しい。
- アドバイスする時は、その前後でほめてもらえるとやる気になる。
 - そうしてもらえると、より高いところを目指そうと思うようになるかもしれない。
- 体を伸ばしたり、廊下で歩いたりする時間がある。筋トレをするときに「あともう少しだよ」などと声をかけてもらおうと、頑張ろうと思う。
- 声をかけてもらって嬉しいときもあれば、放っておいてほしいときもある。
- 自分が好きなものを分かってくれている面白い先生の授業だとやる気が出る。

- この学校では先生と生徒の距離が近いので、良い結果が出たときに先生に伝える生徒もいればそうでない生徒もいる。自分から話してこない生徒にもさりげなく声を掛け、ちゃんと見ていることを伝えられるとやる気を出してもらえと思う。
- どれだけ真面目に授業を受けていても、どうしても眠くなってしまうことはある。教科書を読み上げるだけの授業よりも、先生自らの言葉で語ってくれる授業のほうが、生徒が興味をひかれてやる気を出し、授業に対する理解が深まると思う。
 - 話を聞き続けるだけではなく、自分の力や思考で何かを突き詰めるようなアクティブな授業であれば、面白くて眠くもならないと思う。例えば、理科なら実験を取り入れることが考えられる。
- 他の人にほめてもらうと、嬉しい気持ちになる。先生に「それで大丈夫だよ」と言ってもらえるとやる気が出る。
- 分からないときに見本を見せてくれると、「こんな感じでやるんだ。同じようにやってみよう」と思える。安心感がある。
- 最初はゆっくり授業を進めて、慣れてきたらだんだん早く進めると良い。
- 家庭科の授業で、質問をしたいと思っても先生にきいてもらえてなさそうだと感じ、すぐに質問できないときがある。もっと優しく話してもらえたら質問しやすい。
- 先生も一緒にやってもらえると良い。例えば、国語で分からない漢字があったときは先生に書いてもらうなど。
- ポジティブな言葉で声かけてもらった方がやる気が出やすい。今までにもらった言葉で嬉しかったのは「もう一回やれば大丈夫だよ」「もう一度直してみれば大丈夫だよ」だった。
- 英語の授業では、先生が手話なしで英語をしゃべるので全く分からない。また、英語の発音は、生徒の方から先生に質問しないと教えてくれない。英単語と一緒に発音も教えてくれれば、テストなども解きやすくなると思う。
- 国語の授業はただ先生が説明するだけでつまらない。絵や演技、映像などのユニークな方法を加えてくれると興味が増すと思う。自分たちがみて「そういうものだったのか」と分かるような工夫があったほうが良いと思う。
 - 他の教科の授業ではゲームなどの息抜きする時間があるが、国語は授業中ひたすら喋ったり、書いたり、覚えたりしないといけない。
- 中学校では教科ごとに教えてくれる先生が変わるので、小学校のときと比べて授業が分かりやすくなったと思う。
- いま最もやる気があるのは理科の授業。例えば、生物の授業でカエルについての話をしているときに、「カエルの目はどうしてこうなっているのかな...？」というような質問をされると、その質問の答えを考えることがやる気につながる。
- 生徒の手話を読み取るのが難しいという先生がいるので、自分が代わりに通訳してあげることがある。手話にも2種類（日本手話、日本語対応手話）があるが、日本語対応手話は読み取りが難しいことがあるようだ。

- 手話にまだ慣れていない先生がいる。手話を読み取ってもらえないと勉強に対するモチベーションも下がってくるので、もっと手話を分かってくれる先生がいたらいいと思う。
- 自分の場合、友達感覚で先生とおしゃべりしたい。先生に何かポジティブな言葉を投げかけてもらえると頑張れる。
- 頑張れ！と言われると、プレッシャーに感じる人も多いと思う。同調するというか、寄り添う、楽しく会話ができることが大切。友達と話すみたいに先生とお話できると頑張れると思う。

○こんな先生だったらいいな、と思う先生はあるか？

- 優しい先生がいい。ずっと優しいといい。
- 答えを全部教えてくれる先生。
- 普通の先生。怒ってくれて、優しいときは優しい先生。昔、優しい先生だったとき、怒ってくれたことがなくて、それは嫌だった。
- 悪いことを全部見過ごしてくれる先生。そうすれば、学校にお菓子を持ってこられるようになる。
- チャイムが鳴ったらすぐに授業を終えてくれる先生。
- 授業を1分だけにして、他の時間をレクリエーションにしてくれる先生。
 - レクリエーションは、椅子取りゲーム、鬼ごっこ、教室でテニス、教室でバスケットなど。楽しいから増えてほしい。遊ぶのが楽しい。
- 体を伸ばしたり、廊下で歩いたりする時間がある。筋トレをするときに「あともう少しだよ」などと声をかけてもらおうと、頑張ろうと思う。
- 声をかけてもらって嬉しいときもあれば、放っておいてほしいときもある。
- 自分が好きなものを分かってくれている面白い先生の授業だとやる気が出る。
- この学校では先生と生徒の距離が近いので、良い結果が出たときに先生に伝える生徒もいればそうでない生徒もいる。自分から話してこない生徒にもさりげなく声を掛け、ちゃんと見ていることを伝えられるとやる気を出してもらえるとと思う。
- どれだけ真面目に授業を受けていても、どうしても眠くなってしまうことはある。教科書を読み上げるだけの授業よりも、先生自らの言葉で語ってくれる授業のほうが、生徒が興味をひかれてやる気を出し、授業に対する理解が深まると思う。
 - 話を聞き続けるだけでなく、自分の力や思考で何かを突き詰めるようなアクティブな授業であれば、面白くて眠くもならないと思う。例えば、理科なら実験を取り入れることが考えられる。

6. どんな教科書になるといいと思いますか。

- 視覚に障害があると、普通級のこどもに比べて、先生たちの求めるものが違う。たとえば、普通級のこどもは図形が見える。自分が普通級のテストを受けても分からないと思う。見えにくさは変えられないことだと思う。先生は親切に教えてくれるが、自分が通っている学校のテスト問題は視覚障害者のための問題だという印象を受ける。自分の兄弟や、他の学校の問題を解いてみると、見たことがない問題がある。もっと色々な問題を解く機会があるとよい。
 - 自分は通っている学校のテスト問題で手いっぱい。

- 墨字を使う生徒は iPad で UD と呼ばれるものを使っていて教科書は 3 冊くらいだが、点字を使う生徒は教科書が 10 冊くらいになる。教科書が変わるたびにいちいちロッカーに行って探していて 10 分くらい使うことがある。個人的には、時代遅れだと感じる。点字ディスプレイ「ブレイルメモ」を使えば、教科書が何冊も入るのでいちいち探さなくてもよいし、はるかに軽い。いま使っている教科書は分厚くて、下校をするときにリュックが重い。リュックが膨らんで危ないと言われることもある。点字ディスプレイ「ブレイルメモ」があったら小さいリュックでも済むのでよいと思う。
 - ハト、拡大教科書は重い。
 - 拡大教科書を探すのが難しい。
 - 点字でも UD のようなものがあるとよい。
- イラストがたくさん載っている。
- 漫画。
- 目のつけどころがわかりやすいもの。
- 数学や英語であれば、教科書にワークを基本から応用まで載せてくれば、教科書とは別にワークを買わなくて済むようになる。
- 家で勉強するときに教科書を自分で読んでいるとやる気がなくなってくるので、英語以外の教科書も音声で読み上げしてくれるようにしてほしい。英語の教科書は QR コードを読み込めば音声で読み上げられる。
- 理科や数学なら解説動画を作ってもらえれば、それを見て自分で勉強できる。
- 太字は残してほしい。社会の教科書などは大事な語句が太字になっていて周りに太字の意味が書かれてあるが、意味を説明している文章にも太字・下線をつけてほしい。また、語句一覧を作るか、語句が赤シートで消えるようにしてほしい。
- 点字教科書の値段が高すぎる。また、一冊一冊の教科書が分厚いのに、1 つの科目の教科書が複数冊になっており数学だけで 10 冊を超えることもある。そのため、なるべく持ち帰りしなくてもよいようにしている。
 - 拡大資料も量が多い。
 - プリントを使っている授業では、教科書は全く使わないこともある。
- 音楽の教科書について、前開きになっているのを変えてほしい。
 - 拡大読書器のカメラに映らない部分がある上に文字が小さいため、何が書いてあるのか知らないまま進んでしまうこともある。
- 音楽の教科書について、紙のサイズは大きくしなくてもよいので、文字のサイズを大きくしてほしい。紙が大きくても文字が小さければ意味がない。
- 紙のサイズは A4 で文字サイズは今日のいけんひろばで配布された「事前説明資料」の表紙くらい (32pt) が理想。
- 点字ディスプレイのようなものに教科書の内容を読み込ませられたら、膨大な量の教科書を持ち運ばなくて済むようになる。
 - UD ブラウザ (教科書閲覧アプリ) 、Voice Over がもっと使えるとよいかもしれない。

- Voice Over は数学の記号の読み上げがうまくいかない。
- UD ブラウザに入っている教科書は文字を書き込めるが、すぐにバグが発生するのを改善してほしい。
- UD ブラウザを使いたくても学校の Wi-fi に接続できないことがある。
- UD ブラウザ以外にも教科書を読み込めるアプリがほしい。また、他のアプリが自分に合うかどうかかわからないので、各アプリのお試し期間が欲しい。
- 可愛い素敵な教科書で勉強したい。
 - 教科書が可愛かったらやる気が出てくる。シールがついていたり、ドリルによくある「よくできましたシール」がモフモフのシールになるなど可愛くなったりしたらいい。
- 算数の教科書の内容を、もっとわかりやすくしてほしい。例えば、算数の問題のやり方をもっとわかりやすくしてほしい。また、どこにどんな内容が書いてあるかをわかりやすくしてほしい。
- 上巻・下巻に分けるのではなく、国語辞典のように 1 冊にしてほしい。勉強している途中で急に終わるのが嫌だし、上巻・下巻に分かれていると管理が難しい。1 冊にまとまっているほうが、集中力が上がりそう。沢山勉強ができるので、集中力がある人にはそちらのほうがよさそう。国語と算数が同じ教科書だったら、同時に勉強できるので良い。夏休みや冬休みのドリルは一緒だったのでやりやすかった。
- もっと絵が増えてほしい。
- 授業のように、教科書に書いてある問題を読んでもくれる人が欲しい。
- 答えを教えてくれる教科書がいい。
- 算数の教科書の 9 ページの計算をするのが大好き。
- 全ての内容が「1+1」の教科書になったらいい。
 - それは勉強にならないと思う。
- 教科書の問題が飛び出て見えるようになると、どういう風かわかっていい。算数で特にそうなるといい。問題集と同時に流れてくるといい。
- 絵や写真がたくさん載っている教科書のほうがわくわくする。
- 豆知識がのっているのを見つけるとわくわくする。
- 算数の教科書にある「時計の針」というページが好き。
- 特に思い浮かぶものはない。
- 音楽や体育は絵が少なくてイメージしにくいので、イメージしやすくなると良い。
- 数学は解き方がいろいろある場合、例を載せてほしい。2 次元コードなどで解き方の分かりやすい動画や解説を載せてほしい。
- 理科は 2 次元コードで実験の動画が見られるといいが、一番良いのは実験を増やしてほしい。自分で実験してみないとわからない。
- 英語は新出語句を本文の中で太文字などにして、読み方も同時に示して覚えやすくしてほしい。
- 文字を読むことが好きなので、国語や道徳の教科書にももう少し読みものが増えるといいと思う。
- 一人でどこでも行けるようになるための秘訣を教科書や授業で紹介してほしい。教科書の後ろのほうに載せるイメージ。
- 文字だらけの教科書は退屈なので、謎解きなど楽しめる要素を入れるといいと思う。

- 文字を読んで理解することも大事だが、自分で体験するのも大事なので、実際に体験できるような授業があると良いかと思う。
- 地理などの社会の教科書に路線図などを付録にできると面白いかもしれない。
 - 一人で出かけるときの準備に使えるかもしれない。
- 電車関連のアプリの情報などがあると良いと思う。また、各駅の情報も載っていると嬉しい。
- ハザードマップがあると嬉しい。日頃から備えておいて損はないと思う。
 - スマートフォンのアプリにつながる QR コードでも良いかもしれない。
 - 教科書にマップそのものが載っていれば、災害時にネットが使えない状況でも見ることができる。
- 地元の名所やお店などの情報が載っていると良いと思う。
- 科目によって教科書の分かりやすさは異なるが、写真などの視覚情報が多いほうが良い。
- 問題を解いて答え合わせするとき、答えしか書かれていないと、どこで間違ったのかを見つけるのが難しい。そのせいで、好奇心が止まってしまうらもったいないと感じる。例えば、数学であれば途中式のなどを省略せずに記載してほしい。
- 教科書に難しい言葉があったり、文字が多かったりすることがある。感覚的に理解できるよう、説明文をできるだけ簡潔にしてほしい。
- 自分でもっと知識を探究したい人もいるので、QR コードを活用してより詳しい情報にアクセスできるようになると良いと思う。
- 身近な具体例を示しながら解説してくれると分かりやすくなる。
- 各教科の専門の人が教科書を作っていると思うが、作成過程にその教科の専門以外の人に関わることで、その教科が苦手な人にとっても分かりやすくてできると良いと思う。
- 国語の教科書について、先生がスクリーンに映すものには漢字にルビがついているが、手元の教科書にはついてない。漢字の読み方が分からないので手元の教科書にもルビがついていると嬉しい。
- 複数の教科書が一つにまとまっていたら嬉しい。
- 英語の教科書について、英語の読み方（ルビ）が書いてあると助かる。最後のページのほうに日本語訳も書いてあると文章が読みやすくなる。
- 数学や理科はあまり教科書を使わない。数学は配られるプリントに書き込んでいて、理科は大事な要点をまとめてプリントにしてもらえる。実験結果に至るまでの具体的な手順や内容を載せて分かりやすくしてほしい。今は内容がまとまりすぎていて、どういう流れでこういう結果になったのかが載っていないときがある。また、高校生に近づいているとはいえ、もう少しイラストを増やしてほしい。5 ページくらい文章しかないときもある。
- 理科が分かりにくすぎて本当に嫌になった。理科のワーク（ドリル）が他の教科のワークに比べて文章が多く分かりにくい。
- 教科書について、今は紙の教科書を使っているが、いつもそれを持ってるのが大変。デジタル系の物をもっと増やしてもらいたいと思っている。

- 今は学校でタブレット端末が配布されている。高校 1 年生から端末を受け取るが、1 年使って端末が壊れている人が多かった。また、通信が重い。もうちょっと長持ちしやすく、通信性能がいい PC を導入してもらいたい。

○普段使っている媒体

- 拡大教科書か UD ブラウザ。また、拡大教科書は持ち運ぶのが大変なので、家ではタブレットを使って勉強している。

○教科書やタブレット、プリントのどれが学びやすいか。

- 家庭科は先生が作ったスライドの方が教科書よりも具体的に色々と書かれていてわかりやすい。
- 英語の教科書について、文法のことをもっと詳細に書いてほしい。先生のプリントだと具体的に書かれているので、その点を教科書にもちよっと取り入れてほしい。先生が用意してくれているプリントは割とわかりやすい。
- 先生が用意してくれたプリントの方が教科書よりも分かりやすい。
- 英語の教科書にイラストが入っているのが可愛いと思う。絵があると楽しい雰囲気だと感じる。理科の教科書も生物の進化などについての写真や絵があり、具体的で分かりやすい。文字だけで書かれるよりも、写真や絵が入っているほうが良いと思う。
- 社会の教科書についている大きい地図は、大きく広げることができるので見やすいと思う。
- 普段はプリントを使うことが多く、教科書を使う機会は少ない。社会の授業では教科書を使うことがあるが、分かりにくいと思うことは特にない。

○今の教科書・授業について

- 国語の教科書は読んでいて楽しい。
- 「いま必要な内容なのかな？」と疑問に思うことがある。国語が得意ではないので、読解力がないとなかなか判断できない。
- 理科の教科書がイラストや文字、実験結果などが詰め込まれていて分かりにくく理解できない。実験結果だけでなく結果に至るまでのプロセスも書いてほしい。
- 理科は小学校と全然違う。レベルアップした。美術が一番レベルアップした。先生が違う。中学校の授業と小学校の授業の違いは自由度が増えたこと。小学校の授業では決められたことをやっていたが、中学校の授業では自分の考えたことをそのままやっていいことが増えた。
- 理科が分かりにくい。数学や英語、社会はそこまで難しいと感じない。

7. 学校に行きたくないと感じることはありますか。

- 学校に行きたくない理由は授業ではない。
- 学校に行きたくないことがあまりない。
- いまは学校が楽しいから行きたくないことはない。

8. これからの社会に期待することなど

- いままで先生に言ってもあまり変えてもらえなかった。変えられる第一歩として、意見を言えてすっきりした。
- 陸上競技や学習で、視覚障害者が健常者と同じになるのは、個人的には正直厳しいと感じている。きょう話した意見で少しでも変わればよいと思う。
- 小学校で色々大変なことがあった。平等に過ごせるようになればよいということを書いてよかった。

9. その他

- 給食が全部、クッキーやチョコなどのお菓子だったらいい。
- おいしい給食がいい。
- 休み時間をもっと長くしてほしい。今は中休みが 15 分なので、30 分になるといい。
- 今日お話しした人と毎日一緒にいたいから、毎日学校にいたい。学校にお泊りしたい。
- 月火水木金土、全部お休みがいい。
 - 学校が、月火水木金だから、休みが欲しい。
- 学校で勉強しているから、宿題はなしがいい。夏休みの宿題が多いので、少なくなって欲しい。
- 夏休みを 1 月～ 3 月に伸ばしてほしい。
- 自分の学校は相談室、プレイルームなど休める場所があるのが良いと思った。授業に出られそうにないときでも居場所として利用できるのがありがたい。他学年との交流の場としても使え、色々な生徒とコミュニケーションをとれるのがいい。相談室には個室もあるので、相談したい先生を呼んで相談することができる。プレイルームは遊び・交流の場であり、色々なことができる。
- この市に住んでいたからこそ、この学校に通うことができ本当に良かった。この学校に通えていなかったら、家で路頭に迷っていたと思う。
- 不登校になったから終わりというわけでない。年取や将来のことを考えてもう無理だと思っていたけれど、そうではなかった。この学校に来たらそういう見方も変わる。
- 道徳の授業。

以上